

リユース内視鏡およびシングルユース内視鏡に対する基本認識

オリンパスは、2023年5月に発表した経営戦略における4つの価値の源泉の一つとして「事業拡大とグローバル展開」を掲げています。当社では引き続きシングルユース内視鏡の市場機会に注目しており、リユース内視鏡に加えて、シングルユース内視鏡で製品ポートフォリオを補完してまいります。

リユース内視鏡は、高度な画像処理や操作性に対する臨床上のニーズが高いことに加え、病院にとっての経済的な効率性から、今後もさまざまな手技の第一選択肢になると考えています。

一方、シングルユース内視鏡は、特定の手技に関する選択肢として急速に普及しており、シングルユース内視鏡の市場は、2020年から2030年の間に、毎年15～18%の成長^{*2}が見込まれています。

当社は、内視鏡の領域におけるリーディングカンパニーとして、画像技術、操作性、人間工学に係る知識・経験や、マーケットにおける圧倒的なシェアを強みとして、シングルユース内視鏡の開発に取り組んでいます。

^{*2} 成長率見通しは自社調べ

当社においてシングルユース内視鏡を導入予定（販売中）の領域（2023年10月現在）

当社は、あらゆる患者さん、手技、医療現場に最良の適切なソリューションを提供し、**内視鏡医療のパートナー**となることを目指しています。この実現に向けて、シングルユース内視鏡に対する戦略的なアプローチを確立しました。

画像技術、操作性におけるパイオニア			マーケットにおける圧倒的なシェア		
最高水準の画像技術	感染対策	高い操作性	ワークフローの改善 (オンデマンドソリューション)	耐久性と信頼性	コスト管理

革新的なイメージング技術にフォーカスし、医師のニーズを満たす最適な内視鏡を提供

 消化器科 十二指腸鏡・胆道鏡 2025年3月期～ 2026年3月期に 導入検討中	 泌尿器科 尿管鏡 2025年3月期に 導入検討中	 呼吸器科 気管支鏡 ^{*3} 2022年3月期に米国にて発売済み 鼻咽喉鏡 ^{*3} 2024年3月期に米国にて発売済み
---	--	--

Spotlight : 米国にて発売中

E-SteriScope Single-use Flexible Video Rhinolaryngoscope^{*3}

2023年、米国にてE-SteriScopeを発売しました。診断と治療の両方に対応したポートフォリオにより、オリンパスの従来の内視鏡のプラットフォームを補完して、包括的な耳鼻咽喉科向けソリューションを提供します。

E-SteriScopeは、Hunan Vathin Medical社との提携による商品群です。日本国内では、当社によるE-SteriScopeの取り扱いはありません。



シングルユース内視鏡は、必要に応じて随時使用することができ、スムーズな医療行為をサポートします：

- リユース内視鏡の使用が難しい診療時間外の症例
- 医師がベッドサイドで迅速に検査を行う必要がある場合

^{*3} 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております